



園だより（年長つき組）

朝夕の冷え込みから本格的な冬の訪れを感じるようになりました。11月は、生活発表会という共通の目的に向かって、つき組全員で取り組んだ1か月でした。つき組の子どもたちは、間近に迫った生活発表会をとても楽しみにしています。生活発表会の活動に取り組む一方でいろいろなことがありました。ここでは、そんな活動をお伝えしたいと思います。

畑をきれいにしました



みんなで、大騒ぎしてバッタを捕まえたり、おしゃべりを楽しみつつ、草とりをしたりして取り組んできた畑の栽培活動。サツマイモの収穫で畑の栽培は一旦終わり、次はさくら組さんのタマネギ栽培などが始まりました。タマネギの苗植えの前にさくら組さんと一緒に畑の片づけを行いました。草取りをしたりシートを片付けたりしてみんなで畑をきれいにし、畑の栽培活動はさくら組さんにバトンタッチです。



おやすみなさい…

日ごとに寒くなった今月。みんながお世話しているカメも動きがゆっくりになったり、エサをあまり食べなくなったりして、冬眠する日が近づいてきました。「冬眠から起きるのは4月だからカメさんとさよならだね。」という気持ちをもちつつ、冬眠の準備をしました。カメが起きたときに世話をするさくら組さんに見守られる中、最後にカメをきれいにし、落ち葉の布団をやさしくかけてあげました。カメの世話は毎日、交代で取り組んできました。世話を通してカメに親しみを感じ触れるようになったり、教師が指示しなくても友達と力を合わせてテキパキと世話をする姿が見られるようになったり日々少しずつ経験を積み重ねることの大切さを改めて感じました。

今月の子どもたち



年賀ハガキを買いに行きました。お金を払ったり、おつりをもらったり、はがきを園まで持ち帰るなどそれぞれの仕事も決めて行きました。「ハガキが567円の時にはどのお金を何個出せばいい？」と問題を出すとみんなで一生懸命考えていました。お金について触れる良い機会となりました。

戸外に出ると「ドロケイやろう。」「いいね。」とみんなで誘い合って遊んでいます。他の遊びをしても楽しそうに遊ぶ友達の姿に魅力を感じ、最後は全員で一つの遊びを楽しんでいることも多いです。最近、中当ても人気です。12月も寒さに負けず元気に遊んでいこうと思います。